

岩手県民生委員児童委員大会開催

岩手県民生委員児童委員大会は8月24日に岩手県民会館で開催(主催・岩手県民生委員児童委員協議会・岩手県社会福祉協議会)され、社会福祉関係者等、約1,500名が参加しました。

式典では、民生委員児童委員物故者慰靈黙祷が捧げられた後、永年の功績を称え771名が表彰されました。記念講演では「地域の絆、みんなの笑顔」笑顔を分かち合うコミュニケーションと心の健康について題し、ここ元気配達人

こころ元気研究所所長鎌田敏氏の講演が行われました。

全国民生委員児童委員連合会が、これから民生委員・児童委員活動に関するスローガン「支え合う住みよい社会 地域から」を制定したなかで、大会宣言では、

一、『民生委員児童委員信条』を胸に、常に地域住民の立場に立つた活動を行います

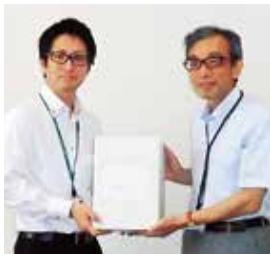


大会には社会福祉関係者等、約1,500名が参加しました

トピックス

TOPICS

岩手銀行労働組合 使用済切手を寄贈



寄贈する佐々木執行委員長(左)

岩手銀行労働組合(加入者1,077名)の佐々木厚志執行委員長と澤口達也書記長は7月25日に岩手県社会福祉協議会を訪れ、使用済切手2,655グラム分を寄贈しました。同労組は2003年度からいわて車いすフレンズ活動を支援しており、使用済切手等の寄贈は今回で15回目となります。

一、東日本大震災の記憶を風化させることなく、地震津波や台風などの災害で深く傷ついた方々や、そこで活動する民生委員・児童委員への支援を引き続き行うとともに、災害に備えた地域づくりに取り組みます

一、民生委員・児童委員制度を守り、发展させていくため、住民にとってより身近な存在となるよう周知活動に取り組み、その理解を広げますを採択。

民生委員の歌「花咲く郷土」を合唱し、閉会しました。

ユーティリティバッグを寄贈 全日通労働組合岩手支部

佐々木執行委員長からは「車いすフレンズ活動に共感している。使用済切手が活動の一助になればうれしい」とご挨拶いただきました。使用済切手は日本社会福祉弘済会を通じて換金され、車いす(県内の工業高校生らが中古の車いすを修理し、海外に送る活動)の輸送費(国内の空港や港までの送料)に役立てられます。これまでに東南アジア諸国などに贈られた車いすは787台となり、今年度は30台の車いすを東南アジア諸国に送る予定です。

皆様のご支援 ありがとうございました

東日本大震災・台風10号災害復興支援などのため、ご支援いただき、感謝申し上げます。[7月1日~8月31日] 株式会社ブリッジ(2件)

134,053円
名郷根法育(1件)1,000円
名郷根和博(1件)1,000円
名郷根博明(1件)1,000円



左から山岸書記長、柴谷執行委員長、県社協根子専務理事

全日通労働組合(加入者24,000名)岩手支部の柴谷正孝執行委員長と山岸伸行書記長は、7月26日に岩手県社会福祉協議会を訪れ、ユーティリティバッグ900枚を寄贈しました。バッグは7月18~19日に花巻市で開催された全国大会にあわせ製作され、「三陸復興」と記載されています。

柴谷執行委員長は「全日通労働組合は、東日本大震災を風化させない取組み」を運動方針にしており、今後も復興支援に携つていただき」と挨拶されました。ユーティリティバッグは宮古市、久慈市、大槌町、岩泉町の各社会福祉協議会を通じ、東日本大震災で被災された方々に贈られます。